

広報・教育部門

応募事例名

「幼児向け下水道出前講座(全国対応版)の開発
～子育て世帯に向けた下水道広報～」

(応募団体名)大阪府高槻市

応募事例の概要

下水道との接点が少ない幼児をターゲットに興味を持ってもらい、ひいては保護者にも関心を高めてもらうため、デジタル紙芝居やクイズなどを用いて理解しやすく工夫した日本初となる幼児向けの下水道出前講座を開発しました。また、デジタル紙芝居を読み聞かせ用の絵本にすることで保護者にも下水道に関心を持ってもらう機会を作りました。デジタル紙芝居の動画ファイルは、全国の自治体でご活用いただけるようリメイクし、本市のホームページで公開しました。

応募事例の内容



デジタル紙芝居



下水道クイズ



読み聞かせ用絵本

- ・出前講座は、入門講座、デジタル紙芝居、クイズの3部構成。
- ・百円ショップの材料でご家庭でも簡単に読み聞かせ絵本を作成できるマニュアルを作成しました。
- ・市内のこども園向けに開発したデジタル紙芝居の動画を全国の自治体でもご利用いただけるようリメイクし、本市のホームページで公開しました。
- ・趣旨に賛同いただいた市内のデザイン企業や認定こども園にご協力いただき、ゼロ予算で講座を開発することができました。



講座を受講した幼児たちがデザインしたマンホール蓋

PRポイント

- ・市内こども園や百貨店で出前講座を開催し、約9か月で130名以上の幼児や親子が受講。
- ・こども園からは「子どもがお母さんにカレーを排水溝に流したらダメだよと注意した。」「川遊びの際、川をきれいにしないと、汚いものを流さないようにしないと。」と実感しているようです。(原文ママ)とご報告をいただきました。
- ・福岡市、日南市、出雲市、大阪府(南部流域下水道事務所)で本市の教材を使った出前講座が幼児向けメニューに追加(実施)されました。※令和7年5月現在

高槻市 都市創造部
下水河川企画課 木村 好孝

仕事や家事に忙しい子育て世代にどうすれば下水道に興味・関心を持ってもらえるか。悩んだ末にたどり着いた答えが、幼児から親への「発信力」に着目した「幼児向け下水道出前講座」でした。

使用する教材は、職員のアイデアを形にするのではなく、市民ニーズに合った教材となるようマーケットインの発想を特に重視しました。そのため、教材づくりの過程で、こども園に何度も足を運びアドバイスをいただきました。この教材を使ってもらうことで、より多くの幼児達に下水道に対する関心を持ってもらえれば嬉しいです。